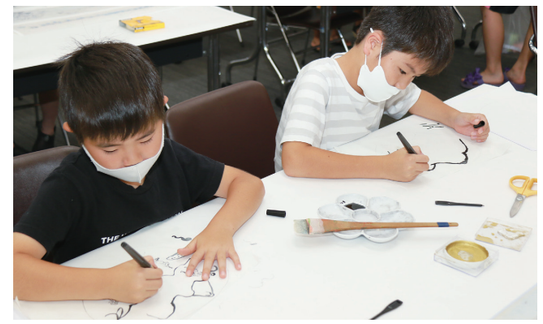
8/2〜4

バルサアカデミーサマーキャンプ

本場の技術を身につけろ! 3日間で強く・賢く・たくましい選手に成長

県内外から参加した子どもたち72人が、サッカーの強豪FCバルセロナ育成スクールのコーチから「バルサメソッド」といわれる技術や、心構えなどの指導を受けました。

初日は緊張からか、ぎこちない様子の子どもたち。しかし、最終日には懸命に声を掛け合い、キャンプで学んだことを積極的に実践しプレーする選手に成長していました。



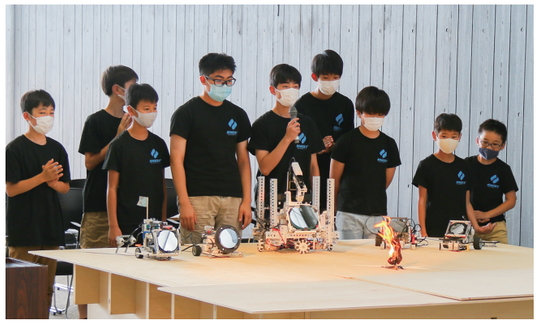
8/7

親子で楽しむ屏風とうちわのデザイン

気分はまるで江戸時代の絵師!? 墨絵を通じて親子で歴史を体感

歴史図書館で開催されたデザイン体験イベントに、夏休み中の親子4組が参加しました。

子どもたちは、ハンコや筆ペン、はけなどを上手に使い、思い思いにデザイン。世界で一つの屏風とオリジナルのうちわが完成すると、誇らし気な表情を浮かべながら、早速、うちわであおいでみたり、作品と記念撮影をしたりしていました。



8/15

東京2020パラリンピック聖火フェスティバル

共生社会への思いを込めて採火「しばたの火」を東京へ

ヨリネスしばたで、東京2020パラリンピック新発田市聖火フェスティバルが開催され、採火式を行いました。

当日は、新発田市ロボコン教室の小・中学生が、製作したロボットが太陽光を集めて火を起こす仕組みを説明。その後、事前に採火した火を新発田竹俣特別支援学校・同校いじみの分校の生徒とリレーして、二階堂市長に手渡しました。

地域のチカラ

川東小学校

昔ながらの田植え体験

5月26日、川東小学校の5年生が、JA北越後青壮年部の指導のもと田植え体験を行いました。子どもたちは、初めて体験する手植えに悪戦苦闘しつつも、伝統的な文化に触れながら作業を楽しんでいる様子で、ほ場には元気な声が響き渡っていました。

作業に協力した地域おこし協力隊の上田幹久さんは「子どもたちから元気をもらいました。コロナ禍が落ち着いたら、私も地域の皆さんに元気になってもらえるイベントを企画したいです」と話していました。

▲上田幹久さん